令和２年度事業計画
令和２年度収支予算

学 校 法 人　山　脇　学　園

１．法人の概要

名　称　　学校法人　山脇学園（平成１５年１０月１日法人設立）
代表者　　理事長　　山脇　成子
住　所　　大阪府池田市伏尾台２丁目１１番地
電　話　　０７２－７５１－１８２８
ＦＡＸ　　０７２－７５１－１８２６
設置する学校及び保育園
　　住　所　　大阪府池田市伏尾台２丁目１１番地
　　名　称　　友星幼稚園
　　住　所　　大阪府箕面市森町中１丁目１番地６号
　　名　称　　森町友星保育園
役　員　　理　事　　６名　　監　事　　２名
評議員　　１３名
理事会　　２回開催　　評議員会　　２回開催
職　員　　５８名（幼稚園　３２名、保育園　２６名）

【　友星幼稚園　】

≪教育方針≫

やさしく思いやりのある子ども・強くたくましく元気な子ども・豊かな感性をもつ子ども

≪教育内容≫

通常保育の中に絵画、英語、体育の専門の講師との活動も入れ子どもたちの協調性や創造性、やり通す精神力など調和のとれた心と体づくりをめざしています

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定　員			2	50	2	60	2	60	6	170
30年度	1	2	2	34	2	44	2	55	7	135
元年度	1	1	2	37	2	45	2	46	7	129
2年度	1	1	2	48	2	47	2	50	7	146

≪保育時間≫

月～金曜日　午前９時～午後２時

≪納付金≫

保育料　　年額３０８，４００円（１２分割均等納付）
教材費　　月額　　１，０００円
施設維持費　　月額　　２，０００円
給食費　　年額　６０，０００円（１２分割均等納付）

≪入園時の費用≫

入園料［３・４歳児］　５０，０００円　［５歳児］　２５，０００円
検定料　　１，５００円

≪預り保育の時間及び費用≫

月～金曜日　午後２時～午後６時、土曜日　午前９時～午後６時

（長期休暇中の預かり保育は、夏期１５日間、冬期５日間、春期５日間

午前９時～午後６時）

日払　８００円～１，７００円

月極　１０，０００円／１４，０００円／２０，０００円

≪行事予定≫

園外保育、保育参観日、納涼保育、お泊り保育、運動会、生活発表会、作品展、誕生会（毎月）、身長・体重測定（毎月）

≪施設関係≫

園地面積２，７６５㎡　　運動場面積１，２５０㎡　　園舎面積６５１㎡

施設点検を怠らず、維持検討のため修繕費を計上

≪設備関係≫

遊具等備品の更新の有無を判断し予算計上。

【　森町友星保育園　】

≪保育方針≫

乳児期・・・・よくたべる子ども、よくねむる子ども、よくあそぶ子ども

幼児期・・・・やさしく思いやりのある子ども、強くたくましく元気な子ども、豊かな感性をもつ子ども

≪保育目標≫

身体は元気に、心は豊かに

保育園 定員６０人	０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	園児数計
	園児数	園児数	園児数	園児数	園児数	園児数	
令和元年度	7	18	22	1	3	2	53
令和２年度	6	23	22	3	2	2	58

≪保育時間≫

開園時間　　午前７時

閉園時間　　午後７時３０分

保育時間　　午前９時～午後５時

≪計画内容≫

平成２７年度４月より子ども子育て支援新制度がスタートしたが、新制度移行が進み、令和２年度は１９２園が私学助成で事業を継続している。

そのような状況下、新年度の友星幼稚園の園児数は、前年度より９名増の６学級１３８名のスタートとなる。

令和元年１０月より幼児教育無償化が実施されたが、保護者が園を選ぶ判断材料として一層「教育内容の充実」にスポットが当たり、預かり保育の希望者が増えるであろうことが想定される。また、特に出生数が戦後最小の８６万４千人になり、将来の園児数の獲得もより厳しいものになっていくものだろうと想定されるため、情報収集、情勢分析は欠かさないこととする。

一方、教職員採用が極めて厳しい状況になっているので、安定した教員組織を維持することができる園が、持続可能な園であり、運営の最大のテーマになってきている。新卒の採用については、短大の減少が進み、４年制大学の養成校からの採用が中心となり、就職希望の３年生が対象となってきている。故に、一般企業と同じ土俵での採用競争となっている。また、保護者対応、増加傾向にある特別支援児への対応、クラス担任として自信が持てないと考える応募者が多く、募集をしても少数の応募となってしまっている。一方、働き方改革の流れから、日本型雇用システム（新卒一括採用、終身雇用、年功序列賃金）が崩れ、企業は、通年採用の実施と、リファラル採用（社員に知り合い・友人を紹介してもらう採用方法）を進めている。本園でもリファラル採用（採用コスト削減及び自園の風土・園の教育方針に合致する教職員の採用）について、検討・研究を進める。

事業活動収支予算書では、幼稚園部門の教育活動収支は、教育活動収入計が１２１，９８１千円、教育活動支出計が１２１，１７９千円となり教育活動収支差額８０２千円のプラスとなる。また、教育活動外収支差額が５千円のプラス、特別収支差額が０千円となり、当年度収支差額（基本金組入前収支差額）は８０７千円（前年度２１，８２２千円）のプラスと良好な経営状況となる。

また、保育園部門の教育活動収支は、教育活動収入計が１２６，８０２千円、教育活動支出計が１２４，２３０千円となり教育活動収支差額２，５７２千円のプラスとなる。また、教育活動外収支差額が１千円のプラス、特別収支差額が０千円となり、当年度収支差額（基本金組入前収支差額）は２，５７３千円プラスと安定した経営状況となる。学園としては、当年度収支差額（基本金組入前収支差額）は３，３８０千円のプラスと良好な経営状況を維持することができる。

また、令和３年度の園児募集については、４０名の園児確保を予定する。

≪収支予算≫

別紙のとおり

幼稚園部門

保育園部門